

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

令和2年10月20日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	化学品製造工場におけるボイラーの更新による CO2 削減事業 (A 重油→都市ガス)
承認番号	JCDM-PJKC1271
排出削減事業者名	三和油化工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社ウェイトボックス
事業実施場所	三和油化工業株式会社 石根工場 (愛知県刈谷市一里山町東石根 36-3)
事業の概要	既存のボイラー5台(三浦工業株式会社 蒸気貫流ボイラー4台、熱媒貫流ボイラー1台)を高効率なボイラー5台(三浦工業株式会社 蒸気貫流ボイラー4台、熱媒貫流ボイラー1台)に更新することでエネルギー使用量を削減してCO2削減を図る。またA重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない都市ガスへ燃料転換することによりCO2削減を図る。
排出削減量の計画	2011年度: 454 tCO2/年 2012年度: 1,369 tCO2/年 2013-2014年度: 1,374 tCO2/年 2015-2016年度: 1,381 tCO2/年 2017年度: 1,374 tCO2/年 2018年度: 1,439 tCO2/年 2019年度: 954 tCO2/年 (事業実施期間合計 11,100 tCO2)
認証期間	開始日 2011年11月29日 終了予定日 2019年11月28日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年

	11月28日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2017年7月1日～2019年11月28日（第4回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,346 tCO <sub>2</sub> （2017年7月1日～2019年11月28日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガスの燃料計による使用量計測結果、事業者へのヒアリング等により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 都市ガスの燃料計による使用量計測結果、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 都市ガスの燃料計による使用量計測結果、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、活動量となる都市ガス使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減</p>

	<p>事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を都市ガスの燃料計による使用量計測 結果との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は2017年7月1日から2019年11月28日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年11月28日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算 11.4kL、熱量換算 443GJ であることを確認した。

以 上